

2025 年度事業報告

2026 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人
市民 ZOO ネットワーク

1. 環境エンリッチメント推進事業

●エンリッチメント大賞

24 回目となるエンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施経過は以下のとおり。

- ・後援：(公社) 日本動物園水族館協会
- ・募集期間：2025 年 4 月 15 日～6 月 15 日
- ・応募結果：応募総数 21 通（16 件の取り組みに対し）
- ・審査方法：下記 5 名の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査をおこなったうえで、審査委員会を開催（9 月 14 日）して二次審査をおこない受賞者を決定した。
- ・審査委員会：岩田 恵里 氏 （元岡山理科大学獣医学部教授）
川端 裕人 氏 （作家）
幸島 司郎 氏 （京都大学名誉教授）
佐藤 衆介 氏 （東北大学名誉教授）
本田 公夫 氏 （The Maritime Aquarium at Norwalk 展示ディレクター臨時代理） ※五十音順
- ・審査結果：3 件
 - ▼奨励賞 バンドウイルカにおける玩具を用いたトレーニングの取り組み（マリンワールド 海の中道）
 - ▼奨励賞 ビーバーの生態を引き出す巣作りの取り組み（阿蘇ファームランド ふれあい動物王国）
 - ▼正田賞 高齢のニシゴリラの嚥下・身体機能低下時に備えた給餌内容を考える取り組み（公益財団法人 日本モンキーセンター）

●エンリッチメントに係るコンサルティング

動物園等の施設を対象としたコンサルティングは、特に実施しなかった。

●エンリッチメントに係る調査研究、情報提供

エンリッチメントに関する情報収集や、マスコミ等への情報提供を随時実施した。

●エンリッチメント大賞 2025 表彰式・受賞者講演会

「エンリッチメント大賞 2025 表彰式・受賞者講演会」を実施した。詳細は以下のとおり。

- ・日時：2025 年 12 月 13 日（土） 13：30～17：00
 - ・会場：東京大学弥生講堂（東京都文京区）
 - ・主催：NPO 法人 市民 ZOO ネットワーク
エンリッチメント大賞 2025 表彰式・受賞者講演会 実行委員会
 - ・プログラム
 - ー開会挨拶、概要説明
 - ー表彰式・審査委員講評・記念撮影
 - ー基調講演 幸島司郎先生（京都大学名誉教授）
 - ー一次審査通過の取り組みを紹介するポスター発表
 - ー受賞者記念講演：マリンワールド海の中道、阿蘇ファームランド ふれあい動物王国、公益財団法人 日本モンキーセンター
 - ・ロビーにて、ブース出展、サイレントオークション等を実施した。
 - ・受賞記念パーティー：講演会終了後に同会場で開催
 - ・表彰式の様子を録画して YouTube にアップした。
- ※実行委員会について：エンリッチメント大賞スタッフグループを中心に実行委員を務めたほか、当日ボランティアなども募り、約 20 名で実行委員会を組織した。

2. 動物園等に関する調査研究事業

●動物園等に関する調査・研究

動物園関連情報の収集・公開や情報提供をおこなった。

- ・動物園関係書籍、パンフレット、会誌、論文等各種の資料を収集
- ・WEB サイトや Facebook での動物園や研究会情報等の提供

●動物園等に係る各種協力・助言

動物園等の施設を対象とした協力や助言は、特に実施しなかった。

●各種団体との連携

動物園関係のイベントや研究会・出版その他の情報について、広報協力等による連携をおこなった。特に、エンリッチメント大賞表彰式において各種団体によるブース出展を実施した。

3. 動物園等に関する普及啓発事業

●セミナー、勉強会、ワークショップ

市民 ZOO ネットワーク主催のセミナーを以下のとおり開催した。

1) 市民 ZOO ネットワークセミナー「動物&自然との共生に向けた動物園の意義と可能性に」

- ・大阪会場：2026 年 1 月 11 日（日）、ギャラリーカフェ Kirin
- ・東京会場：2026 年 1 月 27 日（火）、地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）
- ・講師：佐渡友陽一（市民 ZOO ネットワーク、帝京科学大学）

●情報発信

1) ニュースレター

- ・ニュースレターを2回（第59号、60号）発行した。
- ・第59号発行（2025年4月）（特集：エンリッチメント大賞2024表彰式&受賞記念講演会開催報告、池田泰子原画展・追悼会報告）
- ・第60号発行（2025年10月）（特集：エンリッチメント大賞2025発表！、The shape of Enrichment創設者バレリー・ヘア氏を偲ぶ）
- ・以上を市民ZOOネットワークのサポーター188名（うち正会員22名、2026年3月31日時点）、全国の主要な動物園・水族館（約170園館）、その他関係者に送付した。

2) メールニュース

- ・電子メール版を月1回配信した

3) WEBサイト／Facebook ページ

- ・トピックス、動物園関連研究会情報など随時更新し、情報提供をおこなった。

4) 取材対応等

動物園等に係る取材に対応した。

5) その他

新規の著作物発行等は、特になかった。

4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して適宜情報提供等をおこなうとともに、研究会（野生動物学のすすめ）への参加にあたって交通費補助を行った。

また、エンリッチメント大賞の現地調査に向けた研修会を2025年6月28日・29日に天王寺動物園ほかで実施した。